

〈支援方針〉

「非認知能力」を高める

子どもたちが安心できる環境で自己肯定感、人や社会と関わる力、生活習慣など、将来の自立に向けてストレスに負けない生き抜く力を育む。

自立支援・放デイ グランアミスター 支援プログラム

〈営業時間〉

月曜日～金曜日

9:30～17:30

土曜日

8:30～17:30

〈送迎の有無〉

あり



〈法人(事業所)理念〉

～Dare to be different～ あえて違う者になれ

人や社会と関わる力、生活習慣など、将来の自立に向けて、家庭環境や発達の特性等様々な困難に直面する子どもたちが「生きる力」を育み、安心して過ごせる居場所を目指す。

〈健康・生活〉

「日常生活スキルの向上」

家事動作（調理、洗濯、掃除）や金銭管理、TPOに合わせた振る舞いに重点を置いた活動を行うと同時に、自身のスケジュールリングや生活上のマナーを身につけられるようにサポートしています。
また、社会に出てから起こりうる困難を乗り越えていくため、生き抜く力（非認知能力）を身につける場として実践的な活動を取り入れています。

〈認知・行動〉

「自分を守るために」

インターネット、オンラインゲーム、SNSなどの怖さを知り、自分自身を守るためにみんなで考える機会を作っています。
また、自分の感情を上手にコントロールできるように、気持ちを伝える適切な方法をアドバイスすることで、子どもに寄り添う対応を行っています。そして、いろいろな活動を自分で選び、決定する機会を大事にしています。

〈運動・感覚〉

「小さな刺激と回避策」

日常的に姿勢を保持することや所作を身につけていけるように意識づけを行っています。
また、感覚過敏（聴覚、嗅覚、触覚等）の児童に対して、小さな刺激から慣れていくことや回避の仕方について個々にあった対応を行っています。



〈言語・コミュニケーション〉

「伝える大切さ、表現する力」

話し合いの中で自分の意思を表出できるように、適切な言葉の選択や表現方法について対応しています。
また、相手に「何を伝えたいのか」、「どの様に伝わったのか」の確認作業を含めた、言語コミュニケーションスキルの向上を常に目指しています。

〈人間関係・社会性〉

「自立への一歩」

自分を理解し、他者の気持ちに目を向けることで、互いを認め合う機会を作っています。
また、公共施設や交通機関の利用やそういった場面での行動の在り方について実際の経験を通した『生きたコミュニケーション力』を育み、ルールやマナーを学びます。
また、周囲に支えられて生きていることを知る機会をつくり、感謝の心を育て、将来に渡り、愛し愛され決して孤立しない「自立」を目指します。

〈家族支援〉

日々の発達支援の様子のご共有と定期的な面談を行い、支援の充実化を図ります。
また、将来の心配事についての相談や保護者同士のつながりについても機会を設けていきます。

〈移行支援〉

移行先へ、活動の際の子どもとの関わり方などを伝えてスムーズに移行できるよう連携を図っていきます。
高校卒業後の就労支援などの社会資源を活かして、自立に向けて相談事業所とともにサポートを行います。



〈地域支援・地域連携〉

定期的または適宜に連携会議を開催し、情報収集・役割分担、具体的な場面での子どもとの関わり方を話し合い、共有しています。

〈職員の質の向上〉

障害や幼児期の発達、障害児支援の技法や理論などについて定期的な職員研修や外部講師を招いたチームビルディングなどの研修を開催し、職員の支援スキル向上に繋がっています。
自己研鑽ができるよう資格取得の機会を提供しています。

〈主な行事等〉

- 野外活動わくわく探検隊（自然をテーマとして連休や長期休暇などを利用し宿泊・キャンプイベントを実施）
- お誕生日会 ○避難訓練 ○夏祭り ○ハロウィン ○クリスマス ○もちつき ○節分 ○ひなまつり ○震災を忘れない
- 社会体験（図書館利用、買い物体験、リサイクル活動、お泊まり会）

